



# 学校だより

令和元年 6月28日  
横浜市立権太坂小学校

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/gontazaka/>



## 子どもたちの安全を守る

副校長 松永 淳子

職員室前の花壇の紫陽花が、雨に濡れ美しく輝き、ゆりが柔らかい香を届けてくれた梅雨の季節も終わりを迎えようとしています。今は畑ボランティアの皆様が丹精込めて育ててくださいましたグラジオラスが色鮮やかに咲こうとしています。この時期を迎えると夏休みが目の前まできていることを感じます。

子どもたちは、梅雨の合間をぬって元気よく校庭で遊んでいました。また、体力を知る週間では、汗だくになり、それぞれの種目に全力で取り組んでいました。出た結果に喜んだり、落胆したり、自分の体力を知るよい機会になりました。体力向上に向け、目標もできたことでしょう。

さて、6月17日（月）にスクールゾーン対策協議会が本校視聴覚室で行われました。この会には、警察署、土木事務所、区役所、近隣校校長、自治会長さんなどが参加し、子どもたちの安全を守るために協議してくれます。校外委員の皆様が中心となって子どもたちの通学路を確認し、危険だと思われるところについて点検結果を発表しました。その後、交通安全に関する道路標識、横断歩道の補修や生活安全に関する防犯カメラの設置や木々の剪定など多種・多様な視点から通学路の安全についての見直しが図られました。各機関の皆様からは、それぞれの部署でできることについて前向きな回答をいただきました。今年度中に改善される個所についての確認もできました。毎年1回開催されることで、継続案件となっていることもあります。その案件の中で今年解決できたこともあります。毎年、校外委員の皆様が継続して点検し提案してくださるお陰で、少しずつ子どもたちの安全面が改善しています。

この会の中で、心に残ったことがありました。それは、「この会で、子どもの安全を語るだけではなく、日々の生活の中で、子どもたちの安全を見守っていかなくてはならない。日々のことは日々の生活の中で解決していくことが大切です。」ということをおっしゃっている方がいらっしゃいました。本当にその通りだと思いました。私たち大人が子どもたちの手本となり、常にその安全を確保できるよう、日々の生活の中で実行していかなくてはならないと思います。保護者や地域の皆様、どうぞご協力お願いいたします。

また、学校では、月に一回程度避難訓練を実施しています。これは、地震や火災などを想定したものがほとんどですが、不審者に対応した訓練なども行っています。この他にも1・3年生は交通安全教室、4年生は留守番時における対応についての防犯教室も行いました。子ども自身も「自分の命は自分で守る」を合言葉として危険を予測し、回避する方法を学年に応じ学習しています。

7月22日から8月26日まで夏休みとなります。学校生活から解放されることで、子どもたちの生活リズム、行動もいつもとは変わってきます。地域での夏祭りやラジオ体操など夏休みならではの楽しみもあります。そんな地域行事に積極的に参加して、地域の方と子どもたちがふれあい、顔の見える関係を築くことも、子どもたちの安全を守るために大切なことだと思います。長い休みとなりますが、一人ひとりの子どもたちが、安全に気を付け、有意義な夏休みを過ごして欲しいと切に望んでいます。そして、8月27日、子どもたちの元気な声が学校に響き渡るよう、保護者や地域の皆様には、子どもたちの生活の見守りにご協力をお願いいたします。